

# ため池で太陽光発電

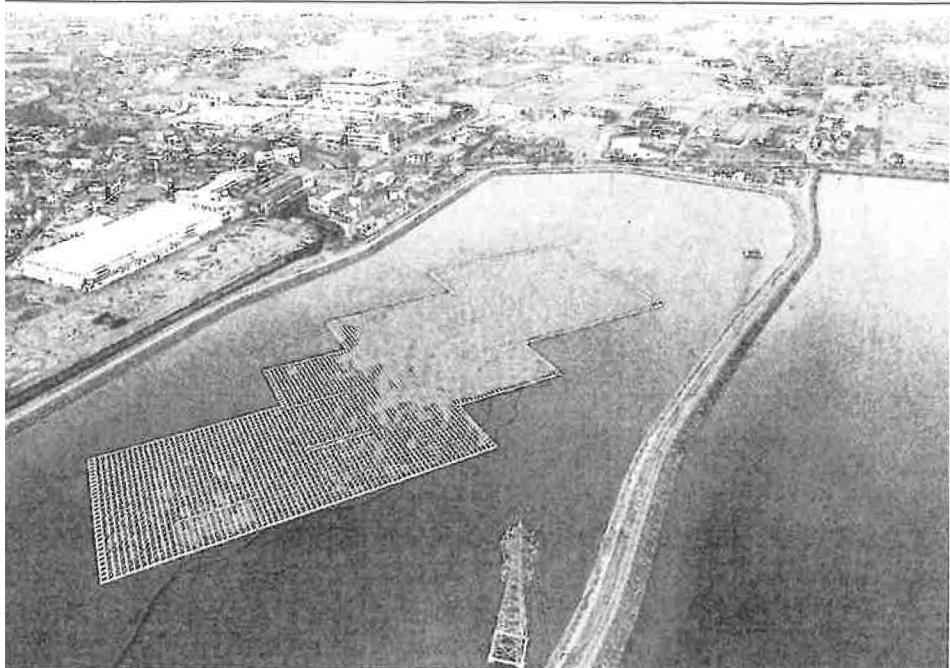
稻美、施設の完成祝う

稻美町六分一のため池「河原山池」で18日、水面に太陽光パネルを浮かべた大規模水上太陽光発電所の竣工式があり、関係者約30人が祝った。

事業主は「二川工業製作所」（加古川市平岡町）。シャープ製のパネル5712枚で出力規模は約1・43メトワ。年間発電量は一般

家庭約480世帯の消費電力に相当する約171万キロワット時を見込む。昨年5月に着工し、12月末から稼働している。

同池を管理する天満大池土地改良区は池の景観と水質への配慮を求めたといい、同社は月1回、水質調査を実施する。同改良区には同社から管理料が支払われる。



河原山池に完成した大規模水上太陽光発電所＝  
稻美町六分一(提供)

竣工式で神事が執り行われた後、同社の一弘理事長(68)は「地元の人たちが再生エネルギーを身近に感じてくれたら」と話している。「うれしい」とあいさつた。(伊丹昭史)

竣工式で神事が執り

行われた後、同社の一

川昌也社長(51)が「こ

の太陽光発電が少しでも地域に貢献できれば

うれしい」とあいさつ

した。同改良区の西澤一弘理事長(68)は「地元の人たちが再生エネ

ルギーを身近に感じてくれたら」と話してい